

2025年4月1日

新宿区長宛て

団体名 認定NPO法人日本国際親善協会
所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿
1-19-8 新東京ビル 10階
(フリガナ) イセ ヒロアキ
代表者氏名 **伊瀬 洋昭**

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 324,000 円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)		
保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	<input checked="" type="radio"/> 国際協力	職業能力開発・雇用機会拡大
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援
その他		

助成事業計画書

団体名	認定 NPO 法人日本国際親善協会 こころのうた実行委員会
事業名	「こころのうた～Song of the heart」プロジェクト
① 事業目的・事業概要	<p><事業目的></p> <p>世界の国々～コミュニケーションツールの一つとしての「音楽」にスポットを当て、「音楽」がその国に興味を持つきっかけとなることで、相互理解へとつなげます。</p> <p><事業概要></p> <p>本事業は、各国大使館のご協力のもと、日本在住の外国人が世界各国の代表的な「心の歌」「ふるさとの歌」をテーマに歌唱し、文化交流を深めることを目的としています。2025年4月1日、「こころのうた実行委員会」を設立し、「こころのうた～Song of the heart」という一つのテーマのもと、長期的な取り組みになるよう事業を行います。</p> <p>まず、新宿区立大久保地域センターにて、小規模な歌の交流会（参加者 100名まで）を開催します。この場を通じて、子供からお年寄りまで、さまざまな世代の新宿区在住の外国人との相互理解を促進するとともに、当会の活動を広く認知していただく機会とします。</p> <p>次に、2026年2月に新宿文化ホールで開催予定の幅広い世代の「心の歌」「ふるさとの歌」についてのフェスティバルに向けた楽曲募集を開始します（ホール抽選：2025年8月予定）。応募者には、音源または動画を LINE やその他 SNS ツールを通じて提出していただき、当会が審査を行います。審査基準は、歌唱力だけでなく、楽曲に込められた想いや表現力も重視します。子供からお年寄りまで幅広い世代の心の歌を集めます。選考を通過した方々は、本番のフェスティバルに出演することができます。（20名の定員に満たない場合は無条件に全員通過）選考されなかった方もフェスティバルの当日にご来場していただきます。</p> <p>フェスティバルでは、より多くの外国人および日本人の方々に参加していただきたいと考えておりますが、ホールの使用時間に制限があるため、出場者は20名に限定します。観客はどなたでも無料で入場可能です。本番参加者には、賞状およびドリンクチケットを授与し、その努力を称えます。さらに、イベントの中で、観客を含めた全員が参加できる歌のコーナーも設けます（幸せなら手をたたこう、365歩のマーチなど）。</p> <p>また、本番ステージに出場できなかった方々に対しても、歌を通じた定期的な交流の機会を設け、継続的なつながりを育んでいきます。本事業を通じて、次年度以降の「心の歌」イベントへの期待を高め、より多くの方々に参加していただけるよう努めてまいります。</p>

<p>② 地域課題・ 社会的課題</p>	<p>新宿区は、約130の国や地域からなる4万人を超える外国人が暮らしており、その割合は区民全体の約13%に達しています。(令和5年度新宿区多文化共生実態調査.2024年2月7日・https://www.city.shinjuku.lg.jp/tabunka/tabunka01_002063_00001.html?utm_source=chatgpt.com)この多様性は地域の活力となる一方で、以下のような課題も浮き彫りになっています。</p> <p>外国人住民と日本人住民との交流機会が限られており、相互理解の不足が問題となっていると言われてしています。区内在住の18歳以上の外国人5,000人に対する多文化共生実態調査の中で、日常生活で困っていることについて特に多かったのは、「ことば」「友人が少ない」というものでした。このことから、交流のきっかけや場を求めていると考えられます。「日本人とつき合いがない」と答えた外国人が50%を超えています。日本人とつき合いがない理由は「話しかけるきっかけがない」(70%近く)「つき合う場がない」(40%強)、などです。日本人高齢者の独居や孤立の問題が指摘されていますが、外国人高齢者の孤立もまた、日本国内において深刻な社会問題となっています。戦後の労働力不足を補うために移住した外国人や、国際結婚を経て日本に定住した方々が高齢化を迎えています。しかし、言語の壁や社会的支援の不足、地域コミュニティとの交流により、社会から孤立しやすいという課題があります。</p> <p>区内在住する18歳以上の日本人と外国人それぞれ5,000人に対する調査の中で、「偏見・差別をなくすために必要だと思うこと」については、外国人住民と日本人住民双方において「お互いの文化を知る」ことが必要だという割合が50%以上でした。外国人と日本人がお互いに同じ認識を持っていることから、文化理解の促進が双方にとって共通の課題であることがわかります。</p> <p>新宿区で生活していく上で知りたい情報の調査において、「お祭り・スポーツなどのイベント」の回答が50%近くという結果で、地域の文化・スポーツイベントに興味があることがうかがえます。このことから、日本人との接点を増やすイベントや活動に関心があるのではないかと推測できます。</p> <p>そもそも、なぜ「多文化共生」が必要なのでしょうか。</p> <p>現在、日本社会は少子高齢化や労働力不足といった課題を抱えているため、日本がこれからも安定し、発展し続けるためには、多文化共生を進め、外国人と日本人が共に支え合う社会を作ることが重要になっています。そして私たち日本人は、外国人がもたらす新しい視点や活力を前向きに捉える姿勢が必要だと考えます。</p> <p>長年、新宿区は多文化共生のまちづくりを推進しており、外国人住民への多言語での情報提供や、日本語教室の開催、地域交流イベントの実施など、多様な施策を積極的に展開しています。しかし、新宿区が多文化共生のまちづくりをさらに進めるためには、行政、地域住民、NPOなど多様な主体が連携し、外国人住民と日本人がお互いに安心して生活できる住みやすい環境を整えることが重要です。</p>
--------------------------	---

<p>② 課題解決のための取組</p>	<p>新宿区の調査結果は「文化理解を深めることが、偏見や差別の解消につながる」という共通認識があることを示しており、それを促進する取り組みの必要性を裏付けていると言えます。</p> <p>私たちは先述（「地域課題・社会的課題」の中）の「お祭り」「イベント」というキーワードに注目しました。日本国際親善協会の役割は、長年の国際支援・国際交流の経験を生かし、外国人と日本人との地域交流の場を設け、地域の問題解決に貢献していくことだと考えています。そこで、各国大使館のご協力の下、日本在住の外国人と日本人が、世界の国々の代表的な「心の歌」や「ふるさとの歌」をテーマに歌唱するイベントを開催します。音楽を通じた国際交流の場を提供し、参加者が互いの文化や背景を共有し、理解を深めることで、新たなつながりや友情が生まれることを期待しています。</p>
<p>③ 先駆性・専門性</p>	<p>【先駆性】</p> <p>本事業は、新宿区において初めて外国人と日本人と一緒に「こころの歌」「ふるさとの歌」を披露し交流するイベントであり、単なる娯楽の場ではなく、お互いの文化を理解し合うための新しい交流の形を生み出す試みです。</p> <p>【専門性】</p> <p>長年にわたり国際交流に携わってきた経験を活かし企画・運営します。また、各国大使館、外国人支援団体、地域の文化交流団体と連携し、専門的な視点から多文化共生の促進に貢献します。</p>
	<p>I イベント（会議）の開催予定等</p>

<p>⑤ 具体的な活動</p> <p>内容</p> <p>(イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. イベント(会議)名: (「こころのうた～Songs of the heart」国際交流会)2. 活動内容: 新宿区多文化共生プラザや大久保図書館等と連携し、こころの歌イベントを開催(日本人と外国人による歌についての文化交流) プロ歌手も参加。参加者は外国人と日本人で～100名程度を予定。3. 実施期間、回数: 2025年9月20日(未定) 土曜日 回数: 1回4. 実施場所: 新宿区立大久保地域センター(予定) https://ookubocc.tokyo/5. 周知(募集)方法、期間: LINE・Facebook、プレスリリース、多文化共生プラザ・各国大使館への掲示、日本語学校等の教育機関、外国人の就労先企業等へチラシ送付等。(期間: 2025年7月1日～9月19日)6. 対象者・定員数: 新宿区(またはその近隣地域、東京都内広域も可)在住の外国人、日本人で定員50名(安全上の理由、スムーズな運営のため50名程度予定)7. 人員・スタッフ数 <p>団体構成員(4)名 講師等(1)名</p> <p>アルバイト()名 ボランティア()名</p> <ol style="list-style-type: none">8. 安全対策等: <p>* 手指消毒の設置---会場入り口に手指消毒液を設置し来場者に消毒を促す。</p>
--	--

- * マスク着用の推奨---必要に応じて来場者にマスクの着用を推奨。
- * 体温チェック---インフルエンザなどの感染症流行の場合、入場時に体温チェックを行い、発熱者の入場を制限

II イベント（会議）の開催予定等

1. イベント（会議）名：（「こころのうた～Songs of the heart」音源募集活動）
2. 活動内容：SNS等を利用し、本人歌唱音源もしくは動画を送ってもらい審査
3. 実施期間、回数：2025年11月1日募集開始～1月31日（締切）
4. 実施場所：新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階日本国際親善協会内、こころのうた実行委員会事務局
5. 周知（募集）方法、期間：LINE・Facebook、プレスリリース、多文化共生プラザ・各国大使館への掲示、日本語学校等の教育機関、外国人の就労先企業等へチラシ送付等。（期間：2025年10月1日～12月31日）
6. 対象者・定員数：新宿区（またはその近隣地域、東京都内広域も可）在住の外国人、日本人
7. 人員・スタッフ数
 団体構成員（4）名 講師等（1）名

アルバイト（ ）名 ボランティア（ ）名

8. 安全対策等：予選は対面式ではないので安全・感染対策はありません。

Ⅲ イベント（会議）の開催予定等

1. イベント（会議）名：「こころのうた～Songs of the heart」
2. 活動内容：イベントホール日本在住の外国人と日本人が、世界の国々の代表的な「心の歌」や「ふるさとの歌」をテーマに歌唱します。（アマチュア20名）プロ歌手（2名）参加。
3. 実施期間、回数：2026年2月28日（土曜日）
4. 実施場所：新宿区立新宿文化センター（小ホール） 予定 〒160-0022 新宿区新宿 6-14-1 Tel:03-3350-1141 <https://www.regasu-shinjuku.or.jp/bunka-center/>

5. 周知（募集）方法、期間：LINE・Facebook、プレスリリース、多文化共生プラザ・各国大使館への掲示、日本語学校等の教育機関、外国人の就労先企業等へチラシ送付等。（期間 2026 年 1 月 1 日～2 月 27 日）

6. 対象者・定員数：新宿区（またはその近隣地域、東京都内広域も可）在住の外国人、日本人。イベント参加者は 200 名程度。（内、歌を披露する方はアマチュア 20 名、プロ 2 名）

7. 人員・スタッフ数

団体構成員（ 4 ）名 講師等（ 2 ）名

アルバイト（ ）名 ボランティア（ 20 ）名

8. 安全対策等：

- * 避難経路の確認・表示---全ての避難経路を事前に確認する（非常口の標識など）。
- * 消火器の設置確認---場所と使用方法をスタッフと共有。
- * 障害物の排除---移動の妨げとなるものを撤去し、通路や出口が塞がれないようにする。
- * 照明の整備---暗くならないように照明を適切に配置。
- * 困りごと対策---参加者の人数に応じて十分な数のスタッフを配置。即時対応できるようにする。
- * 緊急連絡網の構築---スタッフ間で緊急時の連絡先・連絡方法を共有。
- * 手指消毒の設置---会場入り口に手指消毒液を設置し来場者に消毒を促す。

	<ul style="list-style-type: none"> * マスク着用の推奨---必要に応じて来場者にマスクの着用を推奨。 * 体温チェック---インフルエンザなどの感染症流行の場合、入場時に体温チェックを行い、発熱者の入場を制限 * その他注意事項へのアナウンス---ゴミの持ち帰り、建物外観・内観の撮影禁止等アナウンスをする。 * イベント保険に加入：来場者、スタッフのイベント時の不測の事態（怪我、機材等の破損等）に備えて保険に加入。
<p>⑥ 期待される効果</p>	<p style="text-align: center;">ア 区民や地域社会への成果・効果</p> <p>新宿区民や地域社会にとって、多文化共生の意識を深める良い機会となる ことが期待されます。新宿区は外国人住民が多く、多様な文化が共存する 地域ですが、日常生活の中で異なる文化圏の人々と深く交流する機会はま だ限られています。このイベントを通じて、日本人と外国人が互いの故郷 の歌を披露し合うことで、言葉を越えた心の交流が生まれます。また、地 域の日本人住民にとっては、外国人の文化や価値観を身近に感じる機会と なり、理解や受け入れの姿勢が育まれることが期待されます。さらに、外 国人にとっても、地域社会に溶け込み、日本文化に親しむきっかけとなる ため、孤立を防ぎ、地域に対する愛着を深める効果が期待できます。この</p>

イベントは、地域の日本人と外国人双方にとって、共に楽しみ、つながる場を提供することで、より開かれた地域社会の実現に貢献します。

イ 現状や課題に対する成果・効果

現状、新宿区には多くの外国人が居住しているにもかかわらず、彼らが日本人と積極的に交流する機会はまだ限られています。特に言語の壁や文化的な違いが、日常的なコミュニケーションを難しくしている一因となっています。また、日本人側も、外国人との関わり方がわからず、適切な接し方を模索している現状があります。そうした中で、今回のイベントは、音楽という共通の楽しみを通じて、言語や文化の違いを超えたつながりを生む場となるでしょう。歌を通じてお互いの文化を知ること、異文化に対する理解が深まり、無意識のうちに抱えていた偏見や先入観を和らげる効果も期待できます。イベントの成功を通じて、今後も継続的な多文化交流の場を設けるきっかけとなり、外国人と日本人がより自然に交流できる地域環境の整備につながると考えています。

⑦ 今後の展望

イベント終了後、来場者とイベントのボランティアスタッフに対し行うアンケートを実施。結果を踏まえ、さらにニーズに合った充実したイベントになるように、事業を継続して行なっていきたいと考えております。

本事業において3つの目標を立て計画的に行なう予定です。

1. 短期的: 新宿区内での定着・継続開催

	<p>2. 中期的: 参加者の拡大・他イベントとの連携</p> <p>3. 長期的: 新宿区を中心とした地域・全国への展開、多文化共生のシンボリックなイベント化</p> <p>それぞれの詳細は以下の通りです。</p> <p>1. 本事業は単発のイベントではなく、毎年継続的に開催し、幅広い世代の外国人住民と日本人が互いの文化を楽しみ、理解を深める場として新宿区、または周辺地域に根付かせることを目指します。また、将来的には地域の国際交流イベントや区の文化事業とも連携し、より多くの住民が参加できる場を提供していきます。</p> <p>2. 今後はさらに多くの外国人住民と日本人が参加できるよう、対象者の拡大を図ります。特に、日本語学習者が日本の歌を披露し、日本人が外国の歌を歌うことで、お互いの文化をより深く知る機会を提供します。</p> <p>3. 新宿区での成功をモデルケースとして、他の自治体や国際交流団体とも連携し、全国的な取り組みへと発展させることを目指します。また、オンライン配信を活用することで、遠方の外国人コミュニティとも交流し、より多くの人々に多文化共生の魅力を伝えていきます。</p>
--	--

<p>⑧ 過去にこの助成を受けた実績</p>	<p>助成年度 () 事業名 ()</p>
	<p>助成年度 () 事業名 ()</p>
	<p>助成年度 () 事業名 ()</p>
	<p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>

収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	91,300 円	ホール使用料62,100円、第一楽屋2,600円、第二楽屋1,200円、照明3,200円、ピアノ使用料7,300円、音響調設備4,400円、スピーカー使用料6,500円、多目的ホール（地域センター）使用料4,000円
	②消耗品及び印刷費	24,536 円	チラシ印刷代5,428円/2,000枚、ポスター印刷代6,132円/大20枚、アンケート等印刷代300円/白黒500枚(片面Sharp MX5171)、カラーコピー代8,000円(両面16円×500枚/Sharp MX5171)、コピー用紙2冊1,031円、アンケート用クリップ鉛筆(200本)3,251円、両面テープ394円
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	0 円	
	⑤その他謝礼	150,000 円	翻訳謝礼金30,000円（6ヶ国語）、プロ歌手謝礼金60,000円（3名）出演者謝礼60,000円（3,000円分ドリンクカード×20名）
	⑥交通費	40,000 円	運営ボランティア・出演者等交通費（1,000円×40名）
	⑦保険料	17,250 円	イベント保険料(ケガ・機材破損)
	⑧その他諸経費	19,671 円	イベント告知DM郵送料13,200円/120通、参加者（出演者&スタッフ）用ミネラルウォーター6,471円(税率8%)/24本入4箱(2025年イベント参加者50本/2026年イベント参加者46本/熱中症対策水分補給)
	⑨感染症等対策経費	15,109 円	※上限額2万円以内 (20,000)
			マスク834円（50枚入り1箱）、消毒液12,078円（1,098円×10本+消費税）、救急セット2,197円
⑩人件費	100,000 円	※下記「事業費」の25%以内 (119,288)	
		ボランティアスタッフ賃金（5,000円×20名）	
事業費（①から⑩の合計）		457,866 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費	21,200 円	※事業費の5%以内 (22,893)	
		Syncableファンドレイジングキャンペーンについての広報用印刷物8,000円/1000枚カラーコピー(両面16円×500枚/Sharp MX5171)、協会会員・関連機関向けDM送付代13,200円/120名	
⑫助成対象経費（事業費+⑪）		479,066 円	
⑬助成対象外経費		30,000 円	交流会飲食代（概算）
事業総額		509,066 円	

内 容		予 算 額	積算根拠（内訳）
収 入 区 分	㊦ 事業収入（参加料、資料代等）	20,000 円	フェスティバル参加料1,000円×20名
	① 寄附金	133,500 円	Syncableキャンペーン（クラウドファンディング）目標設定金額150,000円－手数料等11%
	㊧ 補助金等収入	0 円	
	㊥ 協働推進基金助成金	324,000 円	「①～⑨、⑪～⑬の合計」の2/3と「⑩」の合計 ※千円未満切り捨て
	㊦ 団体負担金	31,566 円	
収入総額		509,066 円	